

つくば市芸術文化創造拠点整備事業に関する市民説明会資料



つくば市芸術文化創造拠点イメージ図

令和7年6月21日(土)

つくば市
市民部 芸術文化推進課

※ 資料中の画像はイメージ図です。

目指すまちの姿：

- I 魅力をみんなで創るまち
- II 誰もが自分らしく生きるまち**

III 未来をつくる人が育つまち

IV 市民のために科学技術をいかすまち

基本施策：2 人生100年時代に生涯いきいきと暮らせるまちをつくる

個別施策：II－2－④ 文化芸術による市民生活の充実

主要プロジェクト

②文化芸術が身近にある環境づくり

文化芸術創造拠点を形成し、市内外の芸術家に活用してもらい、アーティスト・イン・レジデンスなどの事業を促進し、地域活性化につなげます。また、在住外国人や姉妹都市を通しての異文化理解と多文化共生社会を促進し、国際都市にふさわしい魅力ある文化芸術事業を確立します。

基本理念：アートで編む

- 方針：**
- ①文化芸術に親しむまち
 - ②多様性を尊重するまち
 - ③地域の風土を守り、いかすまち
 - ④創造的で活力あるまち

⑤持続可能な文化コミュニティを実現するまち

戦略（1）プラットフォームの形成

戦略（2）文化施設の整備と活用

戦略（3）文化芸術情報の活用

2018年3月	田水山小学校の閉校
11月	地域要望として、交流センターの設立を希望する意見が上がる。
2019年3月	「つくば市文化芸術推進基本計画」の策定 ※基本的方向5「文化芸術を实践するまち つくば」の基本施策9「プラットフォームの形成」における主要施策として「文化芸術創造拠点の形成」が掲げられた。
2021年9月	「文化芸術創造拠点の形成」に関する審議の開始 ※文化芸術創造拠点の目指すべき方向性の具体化を図ることを目的とし、つくば市文化芸術審議会が開催された。
2022年3月	計画地を「旧田水山小学校」に決定
10月	旧田水山小学校跡地の利活用に関する意見交換会の実施
2023年3月	「つくば市文化芸術創造拠点基本計画」の策定→同年5月に市民を対象とした意見交換会の実施
10月	基本・実施設計委託契約締結（andHAND・河野特定業務共同企業体）
2024年2月	基本設計に関する意見収集
3月	第1回ワークショップ・市民説明会の実施
6月	第2回ワークショップの実施
7月	基本設計の決定
2025年2月	実施設計の決定
2025年8月	改修工事開始
2026年7月	改修工事終了
2026年度後半～	供用開始予定

計画位置	つくば市水守620番（市街化調整区域） 敷地面積：11,777㎡
建築物	<p>【教室棟】 平成7年（1995年）2月竣工 建築面積1001.76㎡ 地上3階 鉄筋コンクリート造</p> 
ビジョン (展望)	アートで編む（つくば市文化芸術推進基本計画より） 市の多面的な魅力を構成する1本1本の糸を、文化芸術によって連携させていくことで、 新しい文化芸術を創造し、大きな「まち」という布を織る。
コンセプト (行動原理)	出会う・つながる・創造する 人、モノ、情報が出会い、そこからつながりが生まれ、つながりから新たな価値観やつくば独自の芸術文化を育む。

<p>活用方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; width: 30%;"> <p>①文化芸術活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作活動の拠点 アーティストの育成 事業・活動のコーディネート </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; width: 30%;"> <p>②文化芸術活動に触れる機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークショップなどの事業展開 市民ボランティアの育成 多彩な展覧会や上演の実施 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; width: 30%;"> <p>③地域に開かれた交流の場の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流スペースの開放 伝統芸能等の練習場所 避難所 </div> </div>
<p>中長期の事業展開</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の認知度稼働率の向上 ・創作、発表を行える場として開放 ・地域利用スペースの開放 ・アーティスト、芸術を学ぶ学生等とつながる ・専門職の雇用 ・企業、研究機関などとネットワーク構築 </div> <div style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術のコーディネート、マネジメントができる人材の育成、配置 ・アーティストとつくばの文化資源を結び付ける ・アーティストの経験の場としてアートイベントを実施 </div> <div style="width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市内外の人々がつくば市の文化資源を活用したアートに触れる機会の創出 ・つくば市の文化資源を活用した「つくば市独自のアートを発信」 </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>市の文化芸術活性化を担うアートの発信拠点</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>次世代の芸術活動・芸術家発掘・育成の場</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>市内の芸術活動を支える交流の場の形成</p> </div>
<p>導入予定機能</p>	<p>【創作・発表・鑑賞機能】 創作室、ギャラリー、パフォーマンスラボ 【交流・学習機能】 地域利用スペース、企画展示室、ライブラリー 【防災機能】 避難所、防災倉庫</p>

記載の施設・部屋名は仮称です

■ 工事名
5-6市単つくば市文化芸術創造拠点基本・実施設計業務委託

■ 建築主
住所 〒305-8555
茨城県つくば市研究学園1丁目1番地1

氏名 つくば市長 五十嵐 立南 様

■ 敷地概要
地名地番 茨城県つくば市水守620番
住居表示 -
敷地面積 11,777 m²
前面道路幅員【東側】 4 m 市道1-4611号線(法42条1項1号道路)

用途地域 指定なし (区域区分 市街化調整区域)
指定建蔽率(60%)
指定容積率(200%)

防火地域 無指定
22条地域 無指定

■ 改修後建物概要
主要用途 08990 その他(製作アトリエ、音楽スタジオ、事務所)
(08460 物品販売業を営む店舗以外の店舗+08470 事務所)

構造・規模 鉄筋コンクリート造 地上3階

■ 既存建物概要

主要用途	08D80 小学校		
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上3階		
建築面積	1,121.16m ²	-	合計 1,121.16m ²
延べ面積	2,581.68m ²	-	合計 2,581.68m ²
容積率			

■ 工事概要及び工事項目

改修工事にあたり 以下の工事を行う

- 1) 直接仮設工事 1式
- 2) 建築工事 1式
- 3) 電気設備工事 1式
- 4) 機械設備工事 1式



体育館は解体し、跡地を駐車場へ

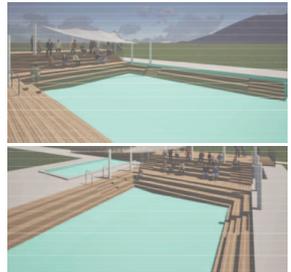
体育館は劣化の程度が大きく、軽微な改修での再利用ができないため、解体し、跡地を駐車場として整備する。45台の駐車スペースとなる。

キュービクル更新、自家発電機設置

館内設備更新やエアコン増設等に伴ってキュービクル設備の増設・更新をする。また、自家発電設備を新設し、災害時に館内一部のエリアを避難場所として利用できるように整備する。

校庭を屋外ギャラリーとして整備

アートゲートから連続して構内通路を作り、バリアフリーで展望デッキまで行けるように整備する。屋外ギャラリー部分は芝貼りとする。

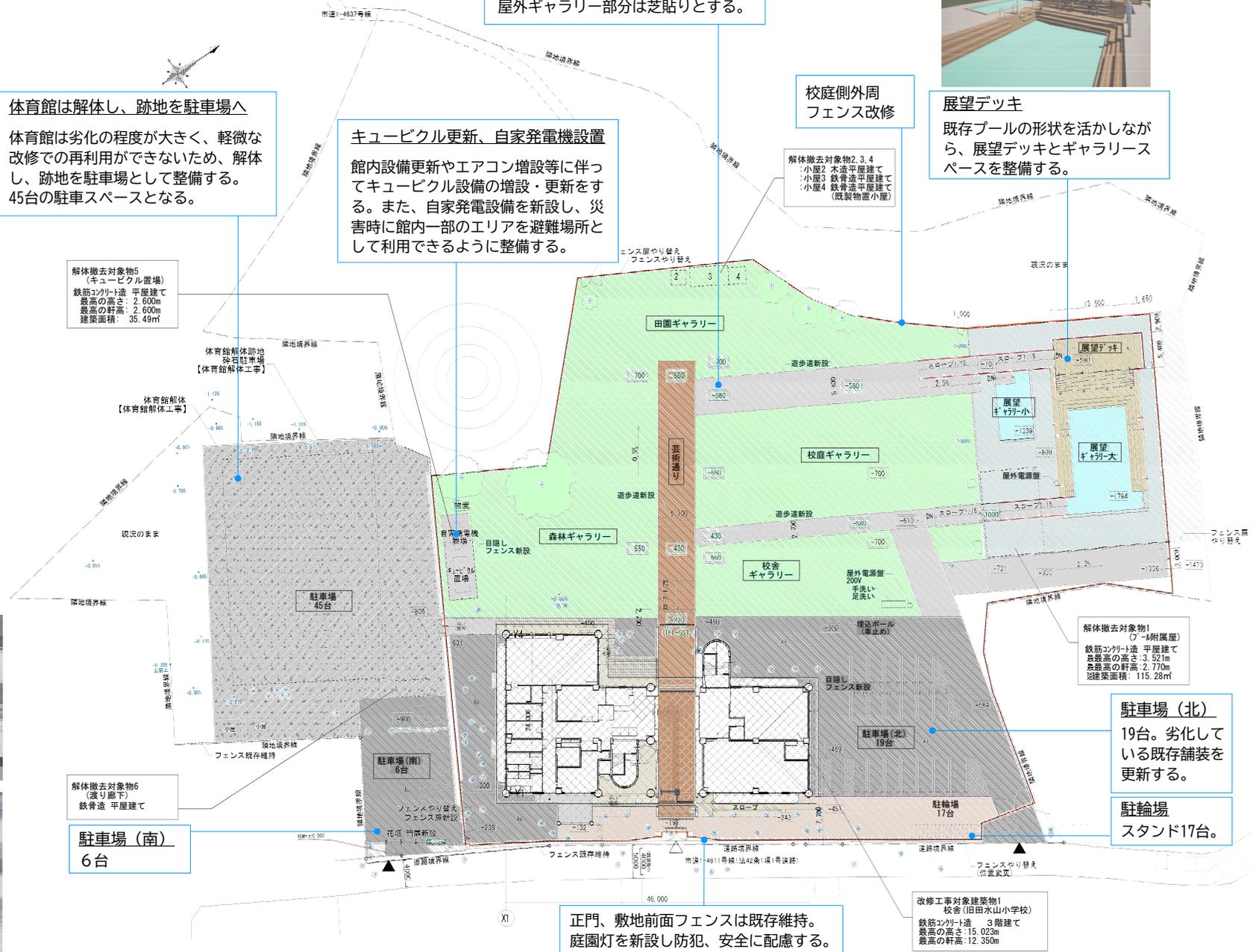


展望デッキ

既存プールの形状を活かしながら、展望デッキとギャラリースペースを整備する。

校庭側外周フェンス改修

解体撤去対象物2,3,4
小屋2 木造平屋建て
小屋3 鉄骨造平屋建て
小屋4 鉄骨造平屋建て
(既装物置小屋)



駐車場(南) 6台

駐車場(北) 19台。劣化している既存舗装を更新する。

駐輪場 スタンド17台。

正門、敷地前面フェンスは既存維持。庭園灯を新設し防犯、安全に配慮する。

- : 廊下等
- : トイレ
- : 地域利用・多目的室
- : 展示・ライブラリ・パフォーマンスラボ
- : 創作
- : 事務室
- : 倉庫、物入、その他

地域利用スペース

元職員室を改修し、利用者が休憩などに使えるスペースを作る。
給湯室をキッチンに改修し、調理可能なスペースとして様々な使い方ができるように整備する。



多目的室1A、1B（創作室1A、1B）

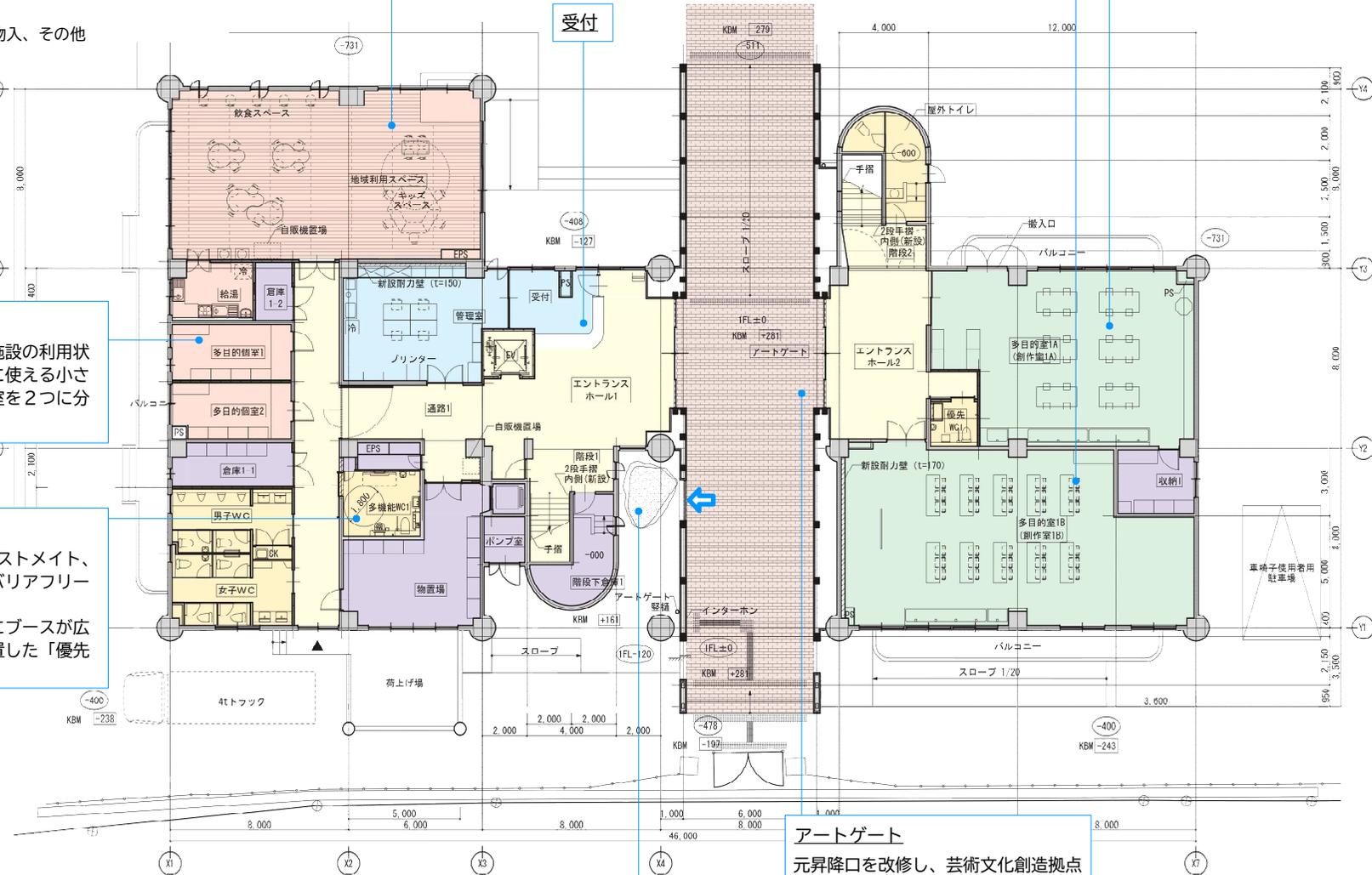
元家庭科室、元理科室を改修し、多目的に使える創作室として整備。
壁際に大きい流し台を設置。
1A室には、天井吊りレールを設置する。

多目的個室1、2

授乳室や更衣室など、施設の利用状況に合わせて臨機応変に使える小さい部屋を整備。元校長室を2つに分けた。

多機能WC

ユニバーサルシート、オストメイト、ベビーチェアを備えたバリアフリー対応トイレを整備。
このほか、各階1か所にブースが広く、ペーパーシートを設置した「優先トイレ」を整備する。



アートゲート内部には、既存校舎竣工時の記念石碑を見るための窓を設ける。
窓には説明書きのサインを設け、旧田水山小学校の歴史も感じられるように設える。



アートゲート

元昇降口を改修し、芸術文化創造拠点の新しい顔として「アートゲート」と称したエントランス通路を整備。
受付へ誘導し、校庭の屋外ギャラリーへの入口も兼ねる。

- : 廊下等
- : トイレ
- : 地域利用・多目的室
- : 展示・ライブラリ・パフォーマンスラボ
- : 創作
- : 事務室
- : 倉庫、物入、その他

エレベーター新設

11人乗りの乗用エレベーターを整備。

放送室

既存の放送設備を活かして再利用。

創作室2A, 2B, 2C

元普通教室を改修し、アーティストが制作等を行う創作室を整備。創作室とオープンスペースを仕切る壁は可動間仕切りになっており、オープンスペースの展示壁としても利用できる。

2階 オープンスペース2

創作室とオープンスペースを仕切る壁は移動間仕切りになっており、オープンスペースの展示壁としても利用できる。

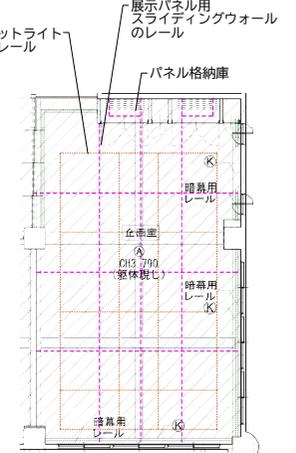


間仕切りパネルにはピクチャーレールを仕込み展示のし易い作りとする計画。

企画室 天井伏図

クロス張の展示パネルを10枚装備する計画。スライディングウォールのレールを使って企画に合わせた配置替えが容易にできる。

スポットライト用のレール



▲天井のイメージ

事務室・キュレーター室

アーティストや市民の文化芸術活動を支える役割の、芸術文化の専門的な知識経験を有するアートコーディネーターが常駐する執務室を整備。

企画室

元コンピューター室は、様々な企画展示を行うスペースに改修する。可動間仕切りの展示パネル、配線ダクト型の移動式スポットライト等を備えつける。暗転利用もできるように、暗幕用のカーテンレールも装備する。

- : 廊下等
- : トイレ
- : 地域利用・多目的室
- : 展示・ライブラリー・パフォーマンスラボ
- : 創作
- : 事務室
- : 倉庫、物入、その他

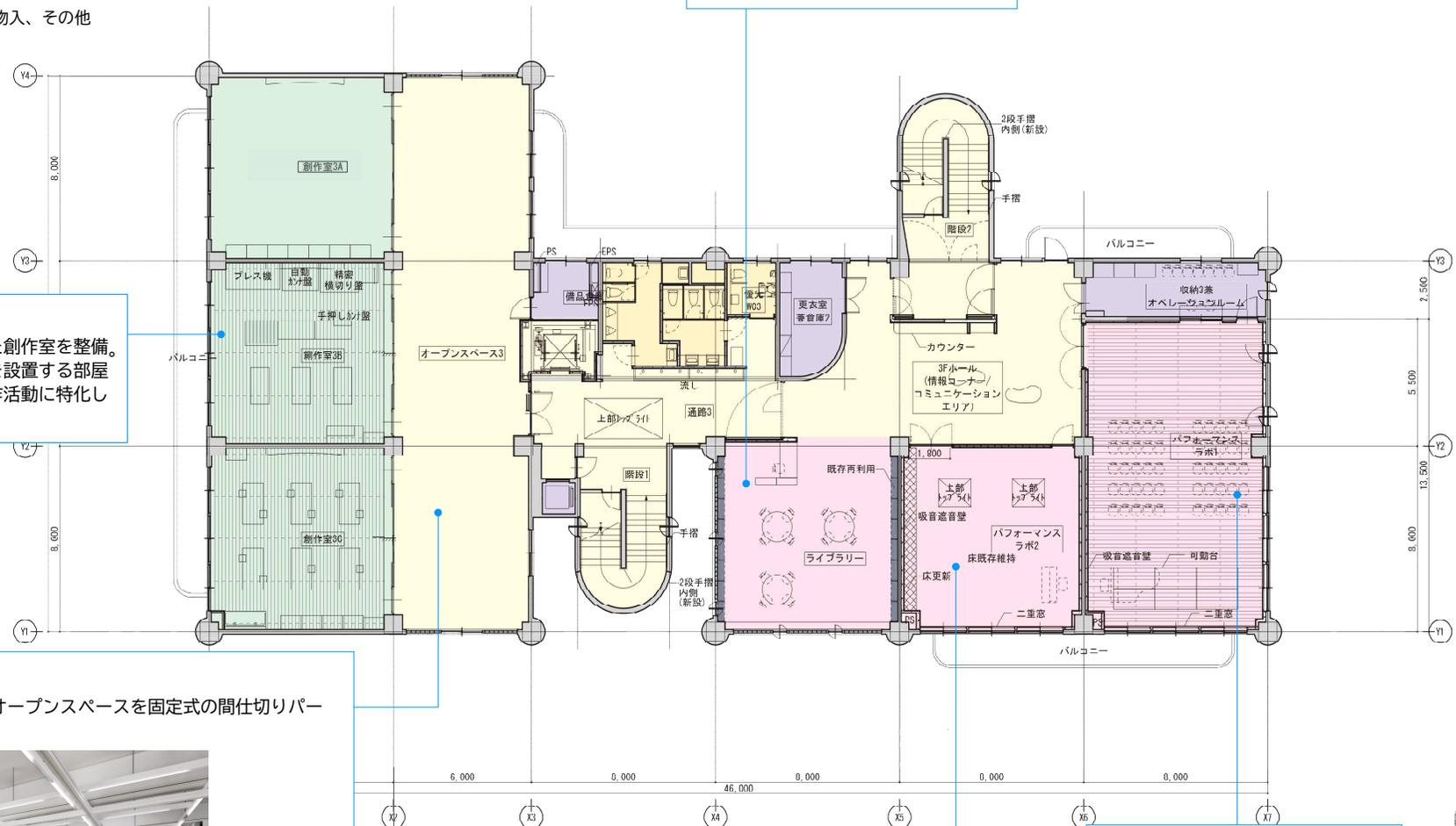
ライブラリー
元図書室は既存本棚も再利用しながら、ライブラリーとして整備する。芸術に関する図書をメインとした開架図書室。

創作室3A, 3B, 3C
元普通教室を改修した創作室を整備。3階は木工工作機械を設置する部屋を作るなど、より制作活動に特化した設えとする。

3階 オープンスペース3
3階は、創作室とオープンオープンスペースを固定式の間仕切りパーテーションで区切る。



オープンスペースの一角に投影スクリーンを移設し、暗幕用カーテンレールも備えて、プロジェクターを使えるスペースとする。



パフォーマンスラボ2
元図室を改修し、ダンスや演劇などの練習に利用できる部屋を整備。

パフォーマンスラボ1
元音楽室を音楽などの練習に利用できる部屋に整備。内窓の設置、乾式遮音壁の設置を施して館内外への音漏れを緩和する措置を図る。